

拡張 DM エディタ バージョン 2.26 更新記録

2009/05/27
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>
info@geocoach.co.jp

1. 修正

- メニュー[チェックリスト保存]-[チェックリスト保存(DXF)]で、図郭別に DXF ファイルを保存する場合、「OK 項目は出力しない」を ON にしても、OK 項目が出力される問題を修正しました。
- TIN の図郭別保存で、急傾斜の細長い三角形が図郭にまたがる場合、消えてしまうケースがある問題を修正しました。
- TIN 参照で、DXF の 3DFACE について 1 点目と 4 点目が同じ場合、1 点目と 3 点目が同じ座標の TIN を発生してしまう問題を修正しました。
- メニュー[アンダー・オーバーシュート]で、端点を移動する場合、移動しなかった端点をチェックリストにリストアップするようにしました。

2. グループヘッダレコード

メニュー[チェック]-[グループヘッダレコード]で、取得年月、数値化区分、精度区分の下位桁を変更する際に分類コードで指定できるようにしました。

グループヘッダレコード

取得年月

取得年月チェック

取得年月をすべて変更する

要素レコードの取得年月も変更する

数値化区分

数値化区分チェック

数値化区分をすべて変更する

1.基準点測量成果を用いる方法

要素レコードの精度区分の上位桁も変更する

精度区分の下位桁

精度区分の下位桁チェック

精度区分の下位桁をすべて変更する

1.1 ~ 50

変更の対象

すべてのグループ

分類コードで指定

選択...

OK キャンセル 設定を保存 設定を開く

3. 点列の順序を反転

メニュー[ツール]-[要素リストアップ]に「点列の順序を反転」を追加しました。該当する面(E1)と線(E2)について、点列

の順序を反転します。

要素リストアップ

データタイプ

E1面 E2線 E3円 E4円弧
 E5点 E6方向 E7注記 E8属性

分類コード

すべての分類コード
 分類コードを選択 (1) 選択 (1) ...
 分類コードを選択 (2) 選択 (2) ...
 分類コードを選択 (3) 選択 (3) ...

2次元、3次元

2次元と3次元すべて
 3次元
 3次元で標高値が全て0.0
 3次元で標高値が-999より高い
 3次元で標高値が-999より高く0.0より低い
 3次元で標高値が-999より高く、全て同じ
 3次元で標高値が-999より高く、一部異なる
 3次元で標高値が-999以下
 2次元

図形区分

すべての図形区分
 非区分(0)
 射影部の上端(11)
 射影部の下端(12)
 表現補助データ(99)
 表現補助データ(99)以外
 0,11,12,99以外
 定義以外

間断区分

すべての間断区分
 間断区分=0
 間断区分=1
 間断区分=2~9

面(E1),線(E2)の点数

点数は問わない
 2点
 3点以上

面(E1),線(E2)の長さ・面積

長さは問わない
 長さを指定(2D)
 長さを指定(3D)
長さの最小値 0.0 m
長さの最大値 1.0 m
 面積は問わない
 面積を指定(2D)
面積 1.0 m未満

その他の条件

注記の数値の小数点以下桁数が1
 消去年月が空白か0以外

処理

リストアップ(順次)
 リストアップ(長い方から)
 該当要素を削除する
 分類コードを変更する
9111
 間断区分を0にする
 間断区分を1にする
 図形区分を表現補助データ(99)にする
 面(E1)を線(E2)にする
 点(E5)を方向(E6)にする
 方向(E6)を点(E5)にする
 円(E3)を点(E5)にする
 点列の順序を反転する
 レポートパネル出力

OK キャンセル

4. その他

[データ]パネルの「TIN」ノードのポップアップメニューに「全てピッキング(ON/OFF)」を追加しました。
[チェックリスト 1]について、上下矢印キーで選択項目が上下するようにしました。但し、マウスポインタが[チェックリスト 1]の上にある場合です。